

# 採血のいろいろ～外来採血室より～

外来採血は1階検査受付に隣接する外来採血室で行っています。  
午前8時から、血液検査のための採血を臨床検査技師が担当して行っています。



## 採血針について

採血のときに使用される針は、21～23Gの太さのものがあり、色分けされています。G（ジ）は数字が小さいほど針の太さが太くなります。検査のための採血は、血液中に含まれる赤血球が壊れてしまうことがあるので、ある程度の太さの採血針が使われます。予防接種のときは26G針といつた細い針を、輸血用には17G針といった太い針を使います。しかし血管が細く採血に時間がかかると採血管内で赤血球が壊れてしまう場合もあります。この様な場合は再度採血をお願いする事もありますので、ご協力ください。

『採血』は、病気の診断や治療効果、薬の効き具合を知るために行われます。例えば血糖のように、項目によっては食事の影響を受ける検査もあります。採血には静脈から採血があります。採血と、耳たぶから行う毛細管採血があります。

一般的に、体の中をめぐっている血液の量は体重の約8%です。これは60kgの体重の方だと4800mlくらいになります。



当院では検査項目によつておよそ20種類もの採血管が使用されています。検査受付で受付を行つてその検査の種類に応じて必要な採血管が「自動採血管準備装置」にあります。検査受付で受付を行つてその検査の種類に応じて必要な採血管が「自動採血管準備装置」にあります。



血液は血管の外に出ると固まります。検査の目的に応じて①血液を固まらせるための「凝固促進剤」という物質を主に使用します。②血液が固まらないようにする「抗凝固剤」は血液が固まるのに必要なカルシウムイオンや、トロンビンの働きをおさえる薬剤が使用されます。『EDTA2K』、『フッ化ナトリウム』、『ヘパリンナトリウム』、『3.2%クエン酸ナトリウム』などが代表的な薬剤です。



凝固促進剤  
トロンビン入り採血管



抗凝固剤  
3・2%クエン酸ナトリウム入り採血管



抗凝固剤  
フッ化ナトリウム入り採血管



抗凝固剤  
EDTA2K入り採血管



『非接触型静脈可視化装置』といい、特殊な赤外線と光で静脈を浮き上がらせます。血管のわかりにくく方に使用します。

これは、凝固促進剤が加えある採血管です。血液を固めて血清<sup>\*</sup>を分離して検査を行います。きれいに分けるために分離剤が入っています。血清の検査は多種にわたります。たんぱく・アルブミン・GOT<sup>\*</sup>・GPT<sup>\*</sup>・LDH<sup>\*</sup>などの肝機能検査、クレアチニン<sup>\*</sup>・尿素窒素などの腎機能検査、中性脂肪・電解質・各種免疫などの検査、甲状腺ホルモン・アレルギー検査、各種腫瘍マーカー<sup>\*</sup>など100種類以上あります。この採血管は特にトロンビンが大量に加えてあります。採血後で血液が固まりにくい状態にある方、また特に迅速に検査を行わなければならぬ場合に使用しています。

抗凝固剤  
EDTA2K入り採血管



抗凝固剤  
EDTA2K入り採血管

抗凝固剤  
EDTA2K入り採血管



抗凝固剤  
EDTA2K入り採血管

末梢血液検査に使用します。赤球数・白血球数・血小板数・ヘモグロビン濃度を測定します。

糖尿病検査の一つの指標であるヘモグロビンA1C専用の採血管です。薬剤は末梢血液検査用の採血管と同じですが、血液検査と区別するため水色のキャップを使用しています。

## ●●● 採血で来院される患者様へのお願い ●●●

- \* 休み明け・木曜日の午前中は大変混み合います。
- 採血のみで来院される方は、他の曜日、時間帯をご利用くださいますようお願いいたします。
- \* 採血時間は【平日】午前8時～午後5時まで  
【土曜日】午前8時～午後12時30分まで
- 尚、日曜、祭日、創立記念日(5月30日)※、年末年始(12月29日から1月3日)は休診のためご遠慮願います。
- ※今年の創立記念日は日曜日につき、前日の29日を休診日とさせていただきます。